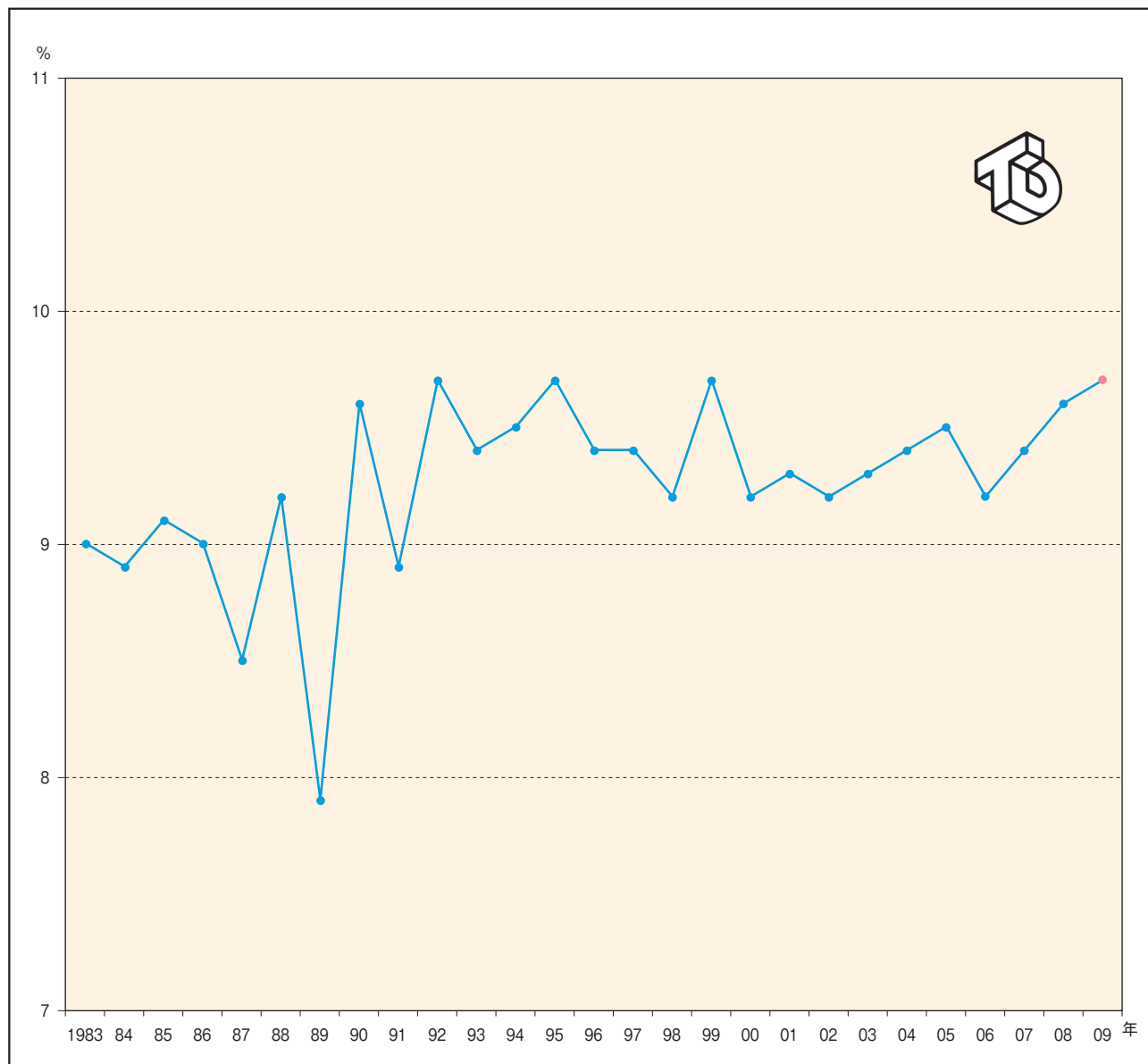


6) 年間粗死亡率と生存率

(1) 年別粗死亡率の推移 (図表20)



年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995
粗死亡率	9.0	8.9	9.1	9.0	8.5	9.2	7.9	9.6	8.9	9.7	9.4	9.5	9.7

年	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
粗死亡率	9.4	9.4	9.2	9.7	9.2	9.3	9.2	9.3	9.4	9.5	9.2	9.4	9.6	9.7

施設調査による集計

解説

導入患者の高齢化、糖尿病性腎症患者の増加、腎硬化症の増加など予後不良な患者の導入が多くなっていることから粗死亡率の悪化が毎年懸念される。粗死亡率は、アンケート回収率の低かった1989年の7.9%が最低値であるが、1992年に9%を超えて以降、9.2～9.7%の範囲内で安定して推移してきた。2009年の結果は9.7%であり、前年より0.1%増加した。年間粗死亡率9.7%は、1983年以降の年間粗死亡率では最高値であるが、1992年、1995年、1999年にも同じ値が観察されている。今後の動向が注目される。